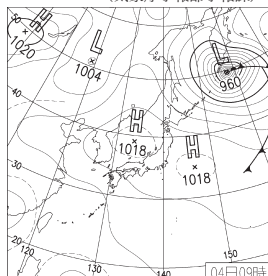


日々の天気図

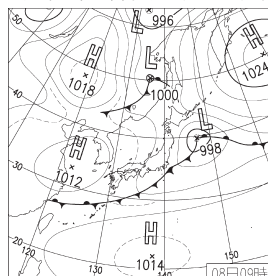
— No. 188

2017年 9月

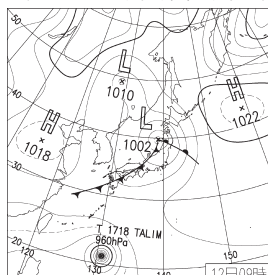
- ・12日、近畿など大雨で床上浸水も。
- ・13～18日、台風第18号が日本縦断、各地で大雨・暴風、床上浸水・停電・交通障害等発生。13日宮古島の日降水量452mmは統計史上1位。
- ・黒潮が12年ぶりに大蛇行。
- ・南大東島、西表島、名護、沖永良部など月平均気温が9月の過去最高。(気象庁予報部予報課)



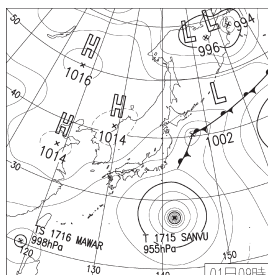
4日(月)奄美・喜界島で猛烈な雨
湿った空気入り奄美～西日本や関東は曇りや雨、奄美大島と喜界島で記録的大雨、鹿児島県喜界島で史上1位の、110.5mm/1h、日降水量454.5mm、西～東日本で最高気温10月並の所も。



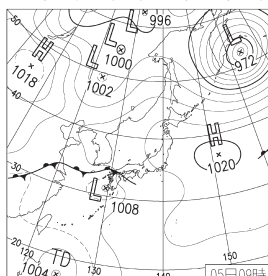
8日(金)秋田県で震度5強
南岸～南西諸島を前線南下、通過時に各地で雨や雷、通過後は高気圧に覆われ全国的に概ね晴れ。東海・関東や北海道は寒気により大気の状態不安定となり雨や雷、熊本県で震度4。



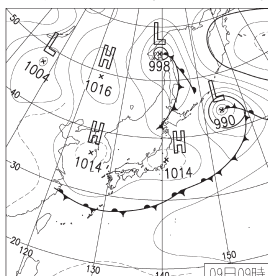
12日(火)西日本で猛烈な雨
北日本を低気圧通過し前線付近で局地的な雨、高知県魚梁瀬82.5mm/1h、奈良県では葛城75.5mm/1hなど史上1位。沖縄・奄美は真夏日で暑さ続く。南シナ海で台風第19号発生。



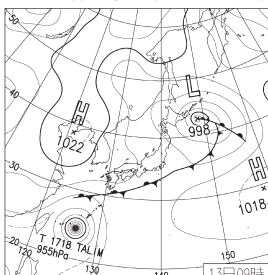
1日(金)父島で記録的な大雨
台風第15号は父島付近に停滞、東京都父島は朝までの48時間に300mmを超える大雨、最大瞬間風速39.8m/s、山陰・関東・北日本太平洋側で曇りや雨の他は概ね晴れ、台風第16号発生。



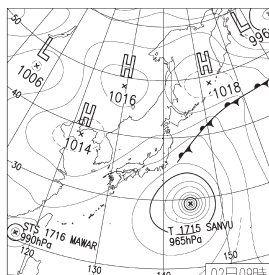
5日(火)屋久島で猛烈な雨
北日本は高気圧に覆われて概ね晴れ、西～東日本は前線の影響で曇りや雨、活発な雨雲がかり鹿児島県屋久島117.5mm/1hで9月1位、尾之間で史上1位となる96mm/1hの猛烈な雨。



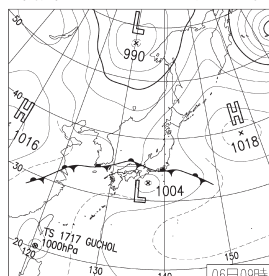
9日(土)台風第18号が発生
北海道は気圧の谷の影響で曇りや雨、その他は高気圧に覆われて概ね晴れ、東北でも真夏日。午後は東海など所々で雨、愛知県伊良湖43mm/1hの激しい雨、秋田県で震度4や3の余震。



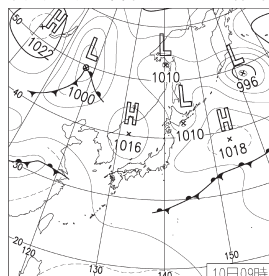
13日(水)台風第18号先島諸島へ
先島諸島は猛烈な風とし、沖縄～九州南部や北海道は雨や曇り、その他は概ね晴れたが北陸や東北の一部で雨、沖縄県城辺日降水量494mmは史上1位、下地 最大瞬間風速50.9m/s。



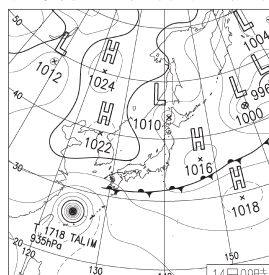
2日(土)台風第15号北北東へ
台風第15号は父島付近から北北東へ動き出し次第に加速、西～東日本は概ね晴れたが午前中東海～東北太平洋側中心に雨、その他は曇りや晴れ、先島諸島は湿った空気入り激しい雨。



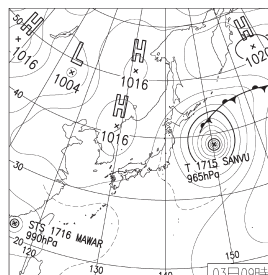
6日(水)台風第17号発生
西～東日本に前線が停滞、九州北部、四国～東北南部は曇りや雨、その他は概ね晴れたが北海道太平洋側は霧も、沖縄・奄美は一部で雨、沖縄県粟国9月1位の最高気温35℃で猛暑日。



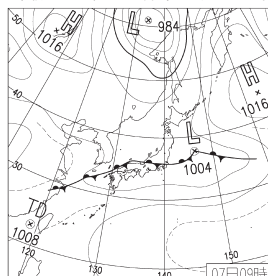
10日(日)沖縄～東北で真夏日
沖縄～東日本は高気圧に覆われて晴れ、全国300地点で真夏日、北日本は気圧の谷に伴う雨雲通過で一時雷雨、青森県青森大谷33.5mm/1hは9月1位。夕方、那覇58mm/1h、北海道震度4。



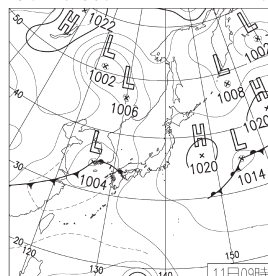
14日(木)宮古島で記録的な大雨
台風第18号は東シナ海を北上、沖縄県宮古島では2日間の降水量500mm超、九州や四国、北日本も低気圧や前線の影響で曇りや雨、北海道浜益で日降水量149.5mm、秋田県で突風。



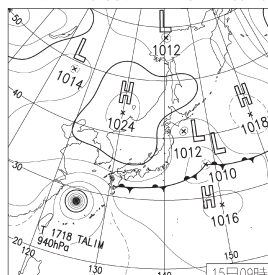
3日(日)台風第15号温低化
広く高気圧に覆われて概ね晴れ、関東以北は冷え込み、最低気温は10月上中旬並の所も。南西諸島は暖気の流入と気圧の谷通過により局地的な雨、那覇60mm/1hの非常に激しい雨。



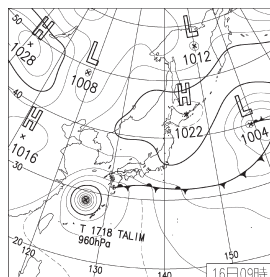
7日(木)前線 本州に停滞
本州付近に停滞する前線の影響で九州～東北の広い範囲で雨で雷も、福岡県耳納山71.5mm/1hで9月1位。沖縄・奄美や北海道は概ね晴れ、沖縄県北大東 最高気温34.9℃で史上1位。



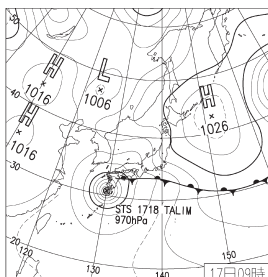
11日(月)気圧の谷接近
前線を伴った低気圧が日本海に進み西から天気が下り坂、九州から雨降り出し次第に東へ拡大、九州北部・中国で激しい雨、山口県須佐59.5mm/1hなど9月1位、沖縄・奄美は晴れて暑い。



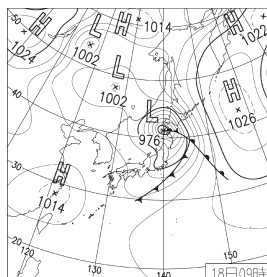
15日(金)台風第18号転向
沖縄～四国付近は台風や停滞前線の影響で暖かく湿った空気が流れ込み九州南部中心に激しい雨、北日本は低気圧や寒気により所々で雨、その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れ。



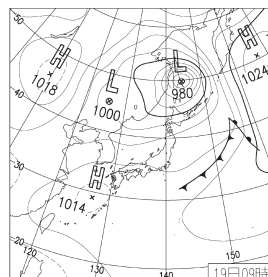
16日(土)台風は東シナ海を東進
 沖縄・奄美は曇りや雨、前線が九州から東へのび西～東日本は雨、南岸で激しい雨、宮崎県赤江77.5mm/1h、日降水量は史上1位の313.5mm、北海道は晴れた所多いが朝方一部で霧。



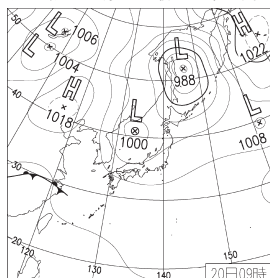
17日(日)台風第18号西日本縦断
 台風は鹿児島、高知、兵庫県に上陸。兵庫県家島と三重県尾鷲で91mm/1h、大分、高知、愛媛、宮崎県など各地で猛烈な雨、竜巻など突風も、最大瞬間風速 高知県室戸岬47.8m/s。



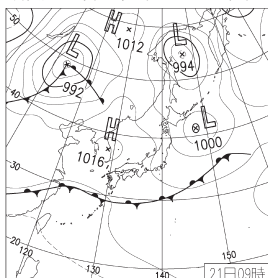
18日(月)北陸・北日本暴風・大雨
 台風第18号は新潟県沖で温帯低気圧化、暴風を伴い北日本北上、北海道大樹85mm/1hの猛烈な雨、日降水量カールス297.5mm、最大瞬間風速青森県八戸41.7m/sはいずれも史上1位。



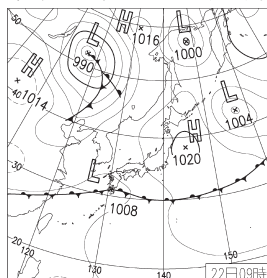
19日(火)南高北低の気圧配置
 東シナ海の高気圧に緩やかに覆われ晴れた所多い。北日本は気圧の谷や上空の寒気の影響で日本海側中心に曇りや雨で激しい雨や雷も。九州北部は上空の気圧の谷の影響で曇り。



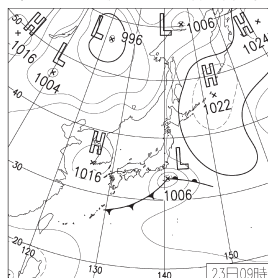
20日(水)北日本中心に雷雨
 沖縄～関東は湿った空気の影響で曇りや雨、北陸と北日本は寒気を伴う低気圧接近し大気の状態が不安定となり雷雨。北海道岩見が50.5mm/1hは9月1位、北海道や秋田県で突風。



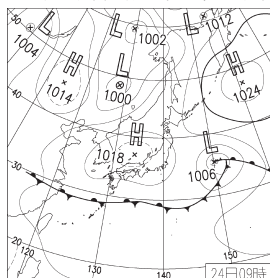
21日(木)奄美で激しい雨
 奄美～九州・四国は前線の影響で曇りや雨、鹿児島県小島34mm/1h、北陸～北日本は低気圧や寒気の影響で所々で雨だが日中は晴れた所が多い。沖縄・奄美と関東甲信で真夏日。



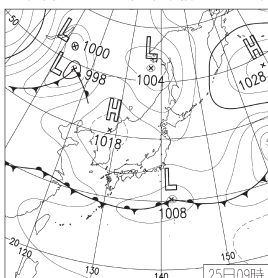
22日(金)鹿児島県で大雨
 九州南部に前線がかかり西日本は雨や曇り、朝方鹿児島県で大雨、東日本は午前中曇りや晴れ、午後は次第に雨。北日本は概ね晴れ、鹿児島県加世田で66mm/1hの非常に激しい雨。



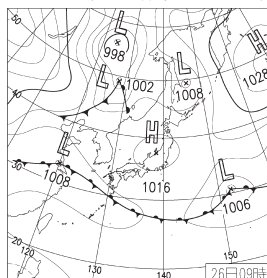
23日(土)穏やかな「秋分の日」
 日中は各地曇りや晴れ、東日本など朝まで雨。沖縄は前線、北海道は寒気の影響で大気の状態不安定となり、沖縄県北原48mm/1h、北海道石狩では史上1位の40mm/1h、北海道で突風。



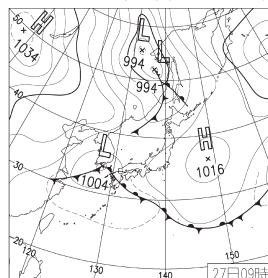
24日(日)日本の南に前線停滞
 九州～関東の南岸は前線や湿った空気の影響で曇りや九州南部は雨、九州は最高気温20℃前後で11月上旬並の所も。その他は概ね晴れたが北海道は気圧の谷の影響で所々曇りや雨。



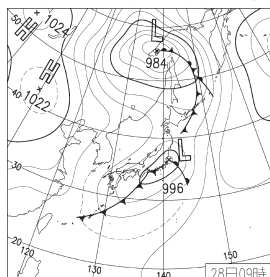
25日(月)旭川でひょう
 奄美付近は前線がかかり雨、その他は高気圧に覆われ概ね晴れたが、北海道は気圧の谷が通過し雷雨。関東も午後は雷雨。東京都大島北ノ山48.5mm/1hは9月1位。



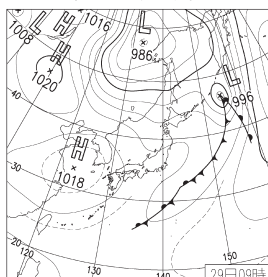
26日(火)秋晴れ続く
 東シナ海～日本の南に前線がのび、沖縄・奄美や九州南部は曇りや雨。九州北部～北海道は広く高気圧に覆われ概ね晴れ、午後は上空の寒気の影響で一部でわか雨。



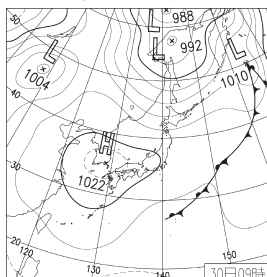
27日(水)西日本から雨
 前線を伴った低気圧が西日本～東進、西から雨の範囲が広がる。北日本には前線が接近し、夜には全国的に雨。鹿児島県伊仙75.5mm/1hは9月1位、岩手・青森・宮城県で震度4。



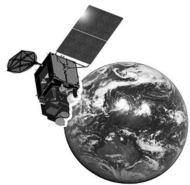
28日(木)関東で猛烈な雨
 前線・低気圧が西～東日本通過、北日本も前線通過し広範囲で雨、千葉県大多喜91mm/1hで史上1位など、静岡～千葉県で大雨、北海道米内管内最低気温-0.5℃は今季全国初の氷点下。



29日(金)帯広で初霜
 北日本中心に寒気流入し、全国的に最低気温が平年より低く、北海道、岩手・長野県で今秋初の冬の所も。北海道ぬかびら源泉郷-1.2℃、各地で9月1位の最低気温。利尻山 初冠雪。

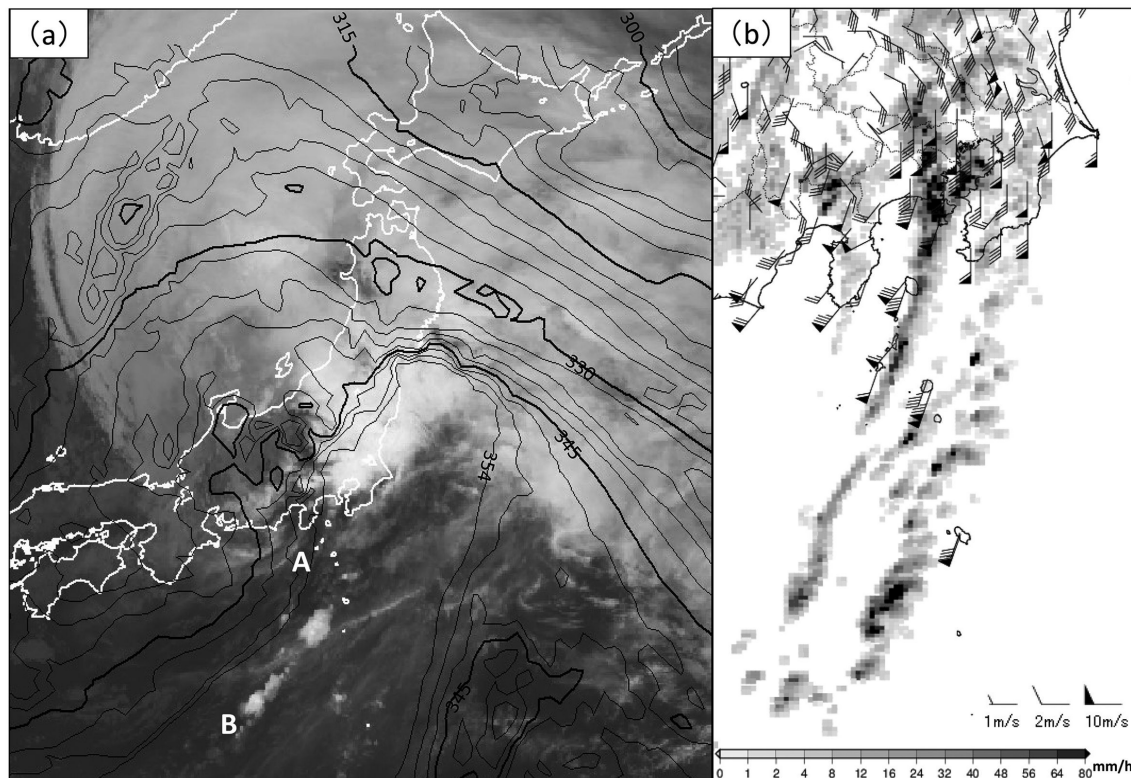


30日(土)北海道旭岳も初冠雪
 沖縄～東日本は移動性高気圧に覆われ概ね晴れ、北日本は気圧の谷に伴う活発な雨雲が通過し雨や雷雨。西～北日本の所々で冷え込み、北海道紋別小向の最低気温2.5℃は9月1位。



今月のひまわり画像—2017年9月

台風の温帯低気圧遷移期に見られる特徴的な対流雲列



第1図 2017年9月18日02時（日本時間）の (a) 日本付近における赤外画像、(b) アメダスの風とレーダー降水強度。実線は気象庁局地モデル（LFM）による925 hPa 面の相当温位（初期値：18日00時、354K 以下を3 K 毎に表示）、記号は本文参照。

2017年9月18日03時（日本時間）、鹿児島県・高知県・兵庫県に上陸した台風第18号は佐渡島付近で温帯低気圧に変わった。第1図aはこの直前の同日02時の日本付近における赤外画像である。関東地方には発達した積乱雲があり、神奈川県東部～伊豆諸島北部には対流雲列A、伊豆諸島南部～日本の南には対流雲列Bが見られる。対流雲列Aはレーダー画像で見ると、17日23時（図略）頃から愛知県付近で明瞭となり、静岡県付近を通過した頃から発雷しながら東進した。気象庁局地モデル（LFM 初期値：18日00時）による925 hPa 面の相当温位の分布を見ると、対流雲列A・Bは354K 以上の高相当温位域内で発達しており、対流雲列Aは同図bのアメダスから南風と南南西風の収束する領域に対応していることがわかる。

本事例のような対流雲列は、台風が温帯低気圧への

遷移期には台風中心の南側に時々見られる。台風が日本海を進む時、レーダー画像には本州南岸付近に南北に連なるカプトガニの尻尾のような形状（南ほどエコーの幅が狭くなる）をした降水エコーが出現するのが特徴で、この対流雲列の通過時には突風がしばしば発生するため注意が必要である。18日未明は静岡、山梨、神奈川、千葉、茨城の各県に竜巻注意情報が発表され、横浜や千葉県勝浦などでは対流雲列Aの通過時に最大瞬間風速30 m/s を超える風が観測された。今回、対流雲列Aの通過に伴って、静岡県沼津市では橋を通過中のトラックが欄干に倒れかかったり、神奈川県相模原市では銭湯の鉄製の煙突（直径40 cm、高さ約20 m）が根元から折れたり、千葉県では停電が相次ぐなど強風による被害が多数出た。

（気象庁予報部予報課 原 基）